

市議会報告

令和 第2回定例会
7年 (6月9日～6月24日)

質疑 こどもの屋内遊び場について

プロフィール



維新の会仙台市議団 代表
市民教育委員会
仙台市議会議員1期目



背景

最近では年間を通じた花粉症の影響や異常な暑さなど屋外の環境が厳しい。山形県や福島県には無料で安心して遊ばせられる屋内の施設が複数あるが、仙台市には整備されておらず隣県まで遠征している実情である。

このことから仙台市では1月、青葉区の西公園に大型の屋内遊び場を整備する計画を立てている。

私

西公園に整備予定の遊び場について、使用開始までのスケジュール、どのようなものになるのでしょうか。来年には工事を始めるのではないかと考えている市民もいます。おおよそのイメージは？

施設の整備時期を含む今後のスケジュールにつきましては、基本計画の策定を進める中で、機能や規模、整備手法などとあわせ整理する考えであり、日々成長する子供たちのための施設として、スピード感を持った取り組みを進めて参ります。

※9月発表の基本計画（素案）にて令和11年度の竣工を目指すとしている。



こども若者局長

私

既存の市有施設の利用について。文化的芸術的に素晴らしいコンセプトの施設でも、不人気になってしまって市民に使ってもらえない。そういった施設は効率的に利活用をしてもらえるように改善すべきだと感じております。

例えば、青葉区北根にある仙台文学館や太白区長町南にある指定の森ミュージアム。何度か行ってみましたが来館者は数人しかおりませんでした。改装、リニューアルをしてこどもが体を使って遊べるようなスペースを作ってみてはいかがでしょうか。

やり方によっては屋内と屋外をミックスした素晴らしいものになるような気がしております。そして、体を使った遊びをして疲れたら、本や文学、そして歴史に触れてもらうということもできるのではないのでしょうか。

子供の遊びは成長段階に応じて多様であり、子供たちの健やかな育ちを支える上では、長期的な視点に加え、今ある様々な資源を活用する視点も重要との認識のもと、学校やスポーツ施設など、既存施設を活用した屋内における遊び場の展開にも取り組んでいるところでございます。

商業施設を含む民間企業との連携や、公共施設の活用など、多様な取り組みを検討しながら、子供の遊びの環境の充実に努めて参ります。



こども若者局長

屋内遊び場の場所



遊び場イメージ



質疑 仙台駅西口の空洞化について

私

青葉山エリアの新音楽ホールを検討しているうちに、世の中の状況は刻々と変わってきており、まさかこれほど旧さくらのデパート跡地が放置されると思っておりませんし、仙台駅の西口のヤマダ電機LABI仙台も撤退して、次の用途が決まっていないとは思っていませんでした。

青葉山エリアを中心部とするつもりでなければ東北の玄関口、顔である仙台駅西口に投資が集中するように、さらなる取り組みの強化が先決かと思います。どのようにお考えでしょうか伺います。

仙台駅西口の開発につきまして、開発の実現というのは喫緊の課題だというふうに思っています。我々も決して状態がいいというふうに思っておりませんで1日も早く何とかしたいという思いは、これまでも思っていてやってきたところでございます。

ただ、民間事業でございますので、我々がどこまでできるかっていうところがございますが、今年度は青葉通り沿線担当の職員を配置したところでございますので、さらなる取り組みについては強化してやっていきたいというふうに考えてございます。



都市整備局長

実現

旧さくらのデパート 解体が決まりました！

再開発が進展します!!!



旧さくら野というデパート



8年間も廃墟の状態
放置されている



8年間
この状態でほったらかし



そこに仙台駅があって目の前ですね



ここエデン跡地



すごく危機感を感じています



西口エリアの開発状況について
仙台駅の西口エリアが
空洞化してくる

市政の問題を発信するYouTube
「今を変えよう！フクちゃんねる」
でも発信しております！
ぜひご覧ください！

